

## 道内各地での植生改善への取組のご紹介

平素より弊社商品をご用命賜りありがとうございます。1番草の収穫作業と重なり、大変お忙しくなる状況であると拝察致します。

輸入穀物価格の上昇は既知の通りであり、良質自給飼料の確保に向けての取組みが全道各地で実施されるようになりました。

弊社は創業者である黒沢西蔵翁が提唱した「健土健民」を企業理念とし、地域に適した牧草・飼料作物種子新品種の開発を行っており、全道8か所の営業マンはフィールドワークを得意としており各地でさまざまな取組を実施しております。

今回は道東支店で取組みの一部をご紹介します。取組の参考にして頂ければ幸いです。

### 「別海営業所」

別海営業所の高橋担当は、道東あさひ農協さんが実施されている「植生改善プロジェクト」に協力し、5月に約2週間をかけ管内の草地の植生調査を5,000ha実施しました。道東あさひ農協さんの管内では約50,000haの草地を保有しており、自給飼料の良質化を目指して取組みを行っております。調査結果は取りまとめ中と聞いておりますが、5,000haの草地の状況は、改良されている草地もあるが、地下茎型イネ科雑草が主体の草地もあり、今後圃場検討会を実施し、生産者の皆様と改良に向け取り組んでいく予定であるようです。

### 「釧路営業所」

釧路営業所の迫田担当は、浜中地区で簡易更新機を用いたペレニアルライグラスの追播を勧めております。(ペレニアルライグラスの追播は今月号の「営業所からの通信」でも別海営業所での取組み事例が紹介されております)簡易更新機は以前に各地で導入されましたが、あまり活用されていない場合も少なくありません。正しい使い方がわからないため、追播がうまくいかないケースなどもお聞きします。迫田担当も最初は覚えるのに苦労したようですが、「放牧地に追播したペレニアルライグラスが良く食べる!」とお客様に喜んでもらえるのが嬉しいと話しておりました。

### 「北見営業所」

北見営業所の加福所長は硬質重粘土壌での表層攪拌による草地更新に取り組んでおります。紋別市から北部はいわゆる粘土質の土壌が多く、有機質が少なく、干ばつでは乾きやすくイネ科作物が育つ環境としては厳しい土壌です。プラウ等を利用した草地更新だと、痩せた土の上に牧草種子を播種しても雑草に負けてしまうケースも散見されておりました。そこで牧草のルートマットを細断し、有機質を補給できる表層攪拌法での施工に取り組んでおり、北オホーツク農協・興部町・雪印メグミルクと協力しながら、比較的干ばつに強いオーチャードグラスをチモシーに混播した取組を行っております。

### 「帯広営業所」

帯広営業所の田中担当は足寄・陸別地区で簡易更新機を活用した簡易更新・追播に取り組んでおります。昨年からは、雑草に負けない草地、発酵品質・嗜好性の良い草地を作るため、オーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播、ペレニアルライグラスの放牧地への追播を実施しております。今年は土壤凍結が少なく、ペレニアルライグラスも順調に生育しており、1番草の収穫が非常に楽しみです。比較的糖含量の高いペレニアルライグラスを混播することで、サイレージの発酵品質改善も期待できます。今後もさまざまな角度から自給飼料良質化に向けての取組を行っていきます。

### 「草地更新時は雪印種苗の種子を利用する」

最後は宣伝になってしまい恐縮ですが、弊社は飼料作物種子及び酪農資材・配合飼料を販売しており、営業マンも現地ですさまざまな取組を実施しております。草地を良くすることが最終目的ではなく、良質発酵を促進するサイレージ用乳酸菌「サイマスター」、栄養価の高い粗飼料にマッチした配合飼料の提案等、弊社営業マン及び、スタッフはお客様のさまざまな課題解決をお手伝いできると確信しております。

変化する時代に何を実行していくか、ぜひ弊社営業マンにご相談いただけますようお願い申し上げます。

(販売企画課 浅沼 康之)